

1. 件名：日本原燃(株)再処理施設等の設工認に関する面談
2. 日時：令和4年5月16日(月) 13時30分～14時25分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 市村原子力規制部長
審査G核燃料施設審査部門 長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、瀬戸川安全審査専門職、清水係員
日本原燃株式会社 宮越 常務執行役員 再処理事業部長
森 執行役員 安全・品質本部長

5. 要旨

○日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から、再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請に関する審査対応の状況について、4月27日の面談を踏まえて、主に以下の説明があった。

- ・共通事項に係る説明資料については、先行して資料提出及びヒアリングが進められているMOX施設での対応をすべて反映させた資料を作成し、6月上旬に一式提出するように作業を進めている。
- ・そのうち、申請対象設備の明確化については、まずは設備ごとに整理をした後に横串的に展開するとともに、抜け漏れがないかを確認するという作業ステップで進めている。

○原子力規制庁から、日本原燃に主に以下の旨伝えた。

- ・申請対象設備の明確化やそれら設備の設計方針等の整理については、闇雲に実施するのではなく、その作業の目的を踏まえて対応することが重要。その観点からは、当方の意向が十分咀嚼されておらず、また、日本原燃内でも意思疎通が十分に図られていない部分があるように感じられる。
- ・そのため、作業状況や認識を共有するための会合を適宜実施していきたい。審査会合が必要であれば柔軟に会合の場を準備する。進め方に関する対応方針を検討してもらいたい。

○日本原燃から、本日の面談を踏まえ、対応方針について数日で回答する旨の発言があった。

6. 資料
なし

以上